

ヒレルクチブトゾウムシ

学名 : *Oedophrys hilleri* Faust



成虫と被害葉

生態と防除

- 発育経過 : 卵→幼虫(土中)→蛹→成虫。
- 加害樹種、部位 : 成虫はバラ科広葉樹(ナシ、ウメ、モモ等)の葉を食害する。幼虫は根を食害する。
- 越冬形態と越冬場所 : 成虫、ニレ科(ケヤキ等)やバラ科樹木の樹皮下
- 年間発生回数 : 1回
- 防除時期 : 成虫は5~8月に果樹園で見られる。
- 防除対策 : 登録農薬はない。加害部位は葉のみで、果実への加害は見られない。慣行防除で発生が減少しない場合は捕殺する。